

深層崩壊が引き起こした代表的な天然ダム



谷垣内山崩れと山手新湖(旧南十津川村)



重里の山崩れ(旧西十津川村)

写真出典: 明治三十三年 吉野郡水災誌(宇智吉野郡役所)

表 災害の詳細情報

災害名	十津川災害
発生年	1889年8月19・20日
場所	奈良県吉野郡十津川村
原因	台風
降雨量	約1,000ミリ(累計雨量)
地質	四万十帯(砂岩、泥岩など)
天然ダム	53箇所
代表的な天然ダム(山手新湖)の諸元	
湛水高	約80m
湛水量	約1,200万 ^m ³
堰止土量	約420万 ^m ³
移動土塊量	約660万 ^m ³
比高差	約300m
継続時間	約500時間
死者	245名
行方不明者	-
全壊・流出家屋	564戸
備考	被害については十津川流域の値 この災害を契機に、北海道(新十津川町)へ集団移住。 (移住世帯641戸,移住者2,587人)

出典:天然ダムと災害(田畑ら,2002)